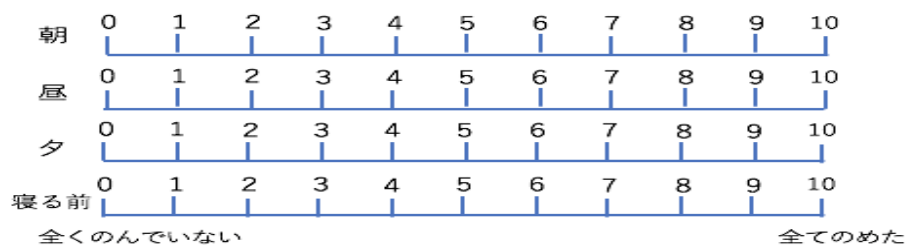


糖尿病チェックシート

「薬局におけるハイリスク薬の薬学的管理指導に関する業務ガイドライン」で糖尿病用剤、膵臓ホルモン剤の特に注意すべき事項として、服用患者のアドヒランス確認、sick day 時の対処法についての指導、低血糖の指導、注射手技の確認が挙げられております。

- それぞれの服用タイミングはどの程度服薬遵守できていますか？10段階で記載してください。



- 飲み忘れの頻度は月どの程度ですか？
 全くない 月1回くらい 月2回くらい 週1回くらい 週2回以上
- 外出時の薬の服用・注射はどうされていますか？
 外出先でも服用できている 忘れやすい
 外出時は服用・注射しない 外出前、もしくは帰宅後に服用・注射している
- 自分ののんでいる薬についてどの程度理解していますか？
 説明書を読んでもよくわからない。家族が管理している。
 説明書を読めば飲み方や種類はわかる
 説明書を読まなくても飲み方はわかるが、なんの薬かはわからない
 説明書を読まなくても飲み方がわかり、内容も理解して服用している
 説明書を読まなくても飲み方、内容、薬の注意点を理解している
- 現在自分が服用している糖尿病薬の名前がわかりますか？
 はい いいえ
- 残薬調整が必要な薬剤はありますか？具体的な薬剤名と残数の記載をお願いします。

- Sick Day 時の対応を医師から説明されていますか？

はい いいえ

「はい」と回答された場合は具体的な内容を記載ください。

()

- 低血糖時の症状、対応方法をご存知ですか？

はい いいえ

- 低血糖の頻度はどの程度ですか？

毎日 週 3 回以上 週 1~2 回 月 1~3 回 ほとんど起こらない

- 注射手技、器具の取り扱いについて（注射製剤を使用している場合）

簡単な作用時間を理解している

混合製剤は混合操作が適切である

投与タイミングが適切である

穿刺部はローテーションを行なっている

穿刺部にインスリンボールがない

消毒を行なっている

空うちを正確に行なっている

注入に十分な時間をかけている

注入後はボタンをすぐに離さずに、保持できている

針の交換は毎回行なっている

未使用製剤、開封後製剤の保管方法の違いを理解している

針は医療機関に持参して廃棄している

※インスリンボールがあった場合、単位数の変更を要することがあります。急激な血糖低下を避けるため次回までは今まで通りの投与方法で継続するよう指導下さい。

- 副作用が疑われる症状、訴えはありますか？

- その他何か困っていることがあれば自由に記載ください。